

仙台市北部の大和町にある、宮城大学大和キャンパスではおよそ1300人の学生が学んでいます。このたび、キャンパス内の主に授業、サークル活動などで利用されているアリーナと講堂の照明をLED器具へリニューアルしました。省エネ、省メンテナンスとともに快適な運動環境、公演環境を実現しました。

宮城大学は1997年の開学以来、実学を尊重し社会環境の変化に迅速に対応できる人材の育成に取り組んでいます。大和キャンパスには看護学群、事業構想学群、大学院があり、自然と共生し地域に開かれた大学としてデザインされ、広い敷地内に本部棟をはじめ交流棟、デザイン研究棟、アリーナなどが整えられています。近隣には県立図書館や産業技術総合センターなどの施設もあり研究に最適な環境です。



【物件概要】
所在地：宮城県黒川郡大和町学苑1番地1
対象物件：アリーナ、講堂
施主：公立大学法人宮城大学
設計：株式会社佐藤総合計画
施工：電気/エヌテック株式会社(アリーナ)
旭日電気工業株式会社(講堂)
リニューアル完成：2025年9月(アリーナ) 2026年2月(講堂)



アリーナの照明 広さ47m×31m、天井高13.6mのアリーナにLED高天井器具①を47台設置し、採光窓にはLEDユニット交換形ダウンライト②を採用

アリーナにハイスペックLED高天井器具を採用、快適な運動環境と省エネ、省メンテを実現。

キャンパス内に設けられているアリーナは、間口47m、奥行31m、天井高13.6mという規模でバスケットボールコートが2面とれ「スポーツ実技」の授業や運動系の各種サークル活動、大学のイベントなどにも活用されています。新たな照明器具として、天井に落下防止ワイヤーを標準装備したLED高天井器具を47台、中2階の通路にはLED一体形ダウンライトを採用。また壁に設けられている採光窓にはLEDユニット交換形ダウンライト(直付シーリング)を設置しました。省エネ性能に加え、長寿命による省メンテナンスでランプ交換等の手間を削減。また高天井

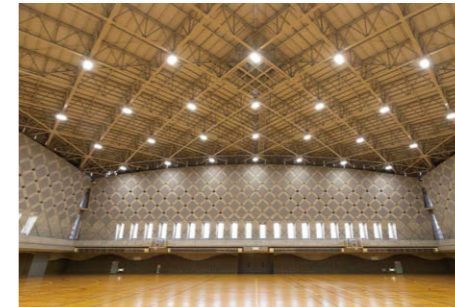
器具はハイスペックタイプで耐震クラスS2、非常時用の100V電源で点灯可能、調光範囲約5%~100%と緊急避難所に求められる機能にも対応しています。

本部棟内にある講堂は、「音楽演習」などの授業や入学式、学位授与式のほか学内サークルの発表会などで活用されています。このたび音響反射板をリニューアルし照明器具にLEDシアターダウンライトを採用。省エネ、省メンテナンスとともに、調光によって色温度が変化する特徴を持ち、公演に応じた照明演出を実現します。



(左) LED高天井器具(落下防止ワイヤー標準装備)
(右) LEDシアターシリーズダウンライト

主な掲載器具一覧	設置場所	器具名(品名)	形名	台数	備考
アリーナ	アリーナ	① LED高天井器具ハイスペックタイプ	LEDJ-43005N-LD9+LEDX20060G+LEDX-20071GF	47	消費電力: 228.0W
		② LEDユニット交換形ダウンライト(直付シーリング)	LEKG153421N-LS9	44	消費電力: 11.1W
		③ LED一体形ダウンライト6000シリーズクリアレス	LEKD60373N2V-LD9	38	消費電力: 45.0W
講堂	講堂	④ LEDシアターシリーズダウンライト	AL-LED-TDL-LS	26	消費電力: 91.5W



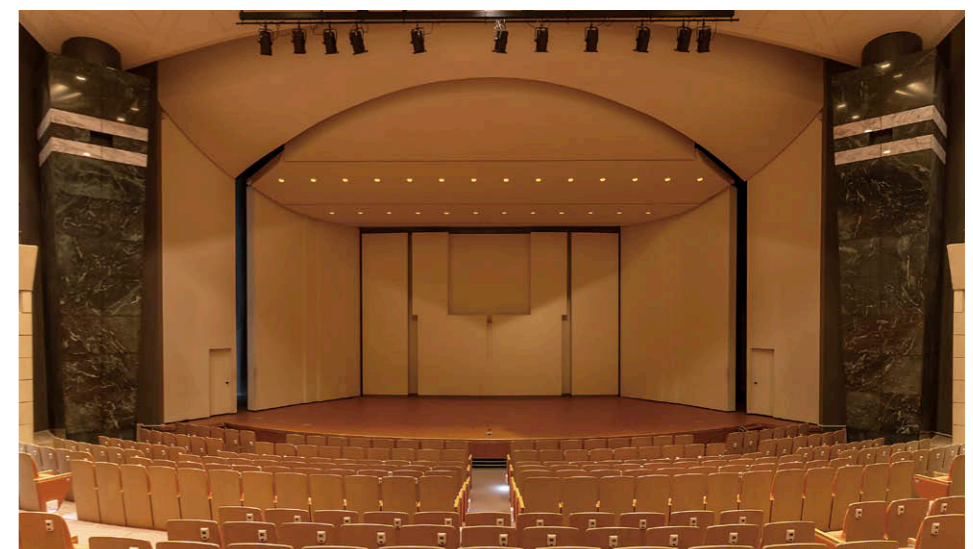
アリーナの照明 1kW形メタルハライドランプ器具相当のLED高天井器具①の照明



中2階の照明 観客席とロッカーのある中2階通路にLED一体形ダウンライト③を採用



音響反射板 LEDシアターシリーズダウンライト④による美しい照明



音響反射板 LEDシアターシリーズダウンライト④による照度を落とした照明